

なきごえ



1982

3

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私



鳴海陽子

生まれた瞬間、一番弱いのが人間です。人間は、心があり、知能があり、そして学習をします。

むつかしい事は、私にはよくわかりません

が、人間は最高の動物なのでしょうか。

人間は鳥を見て、空を自由に飛びたいと思った時飛行機を作りました。魚を見て、水の中を自由に動きまわりたいと思った時、舟を作ったのじゃないかと思えます。そして、速く走る動物を見て、車や新幹線を作るようになったのかどうかは、知りません。

まねをしている分には、かわいげもありました。いったい、いつから人間は、他の動物たちを支配してよいと決めたのでしょうか。

今や、他の動物たちはおりのの中に入れられたり、実験にまで使われています。

私は薬大にかよう学生です。薬大の教科課程に、動物を使う実習というのがあります。人間のための薬、人間に効くか効かないか、それを知る手取り早い方法は、直接、人間に作用させてみればいいのです。

はたして私は、実験人間になってもいいと志願する人なんているのでしょうか。人身問題だ、どうのこうのと問題がわき上がるだけで、だれだっていや

に決っています。動物たちは何っていつているのでしょうか。

人間の言葉を使えないことをいいことに、動物たちは承諾なしで、人間のために犠牲になっています。

弱肉強食、強い者が弱い者を食べる。弱い者は食べられても、種族保存ができるだけ多くの子供を生みます。それで均整がとれています。生き残れるか食べられるかは運しだいというのでしょうか。食べられるだけに生まれてきたなんて。犠牲になるために生まれてきたなんて。一瞬の恐怖だけをもって、死んで行くなんて。

実験用のマウスが、ラットが、人間のために、日々殺されていきます。薬が効くか効かないかを学ぶ薬理学というのがあります。もし、自分のからだと同じ太さの注射器で利尿剤を打たれ、おしっこをたれ流しにさせられたらどうします？ 当然発狂ものですよ。

薬が安全かどうかを学ぶ毒性学というのがあります。なぜ薬は胃を荒すのをわかった上で、むやみやたらと、それがあたかも食物かのごとく食べさせられ、胃に大きな潰瘍を作らされた犬は、今から殺されるとは知っているのか知らないのか、まだしっぽを振って愛想をふりまわっています。

長い目で見ればそれでいいのでしょうか、と言いつつも、こういう動物たちの運命が、当然のことのように対処していくようになりつつある自分が、恐しいかぎりです。

(京都薬科大学、学生)

なきごえ3月号もくじ

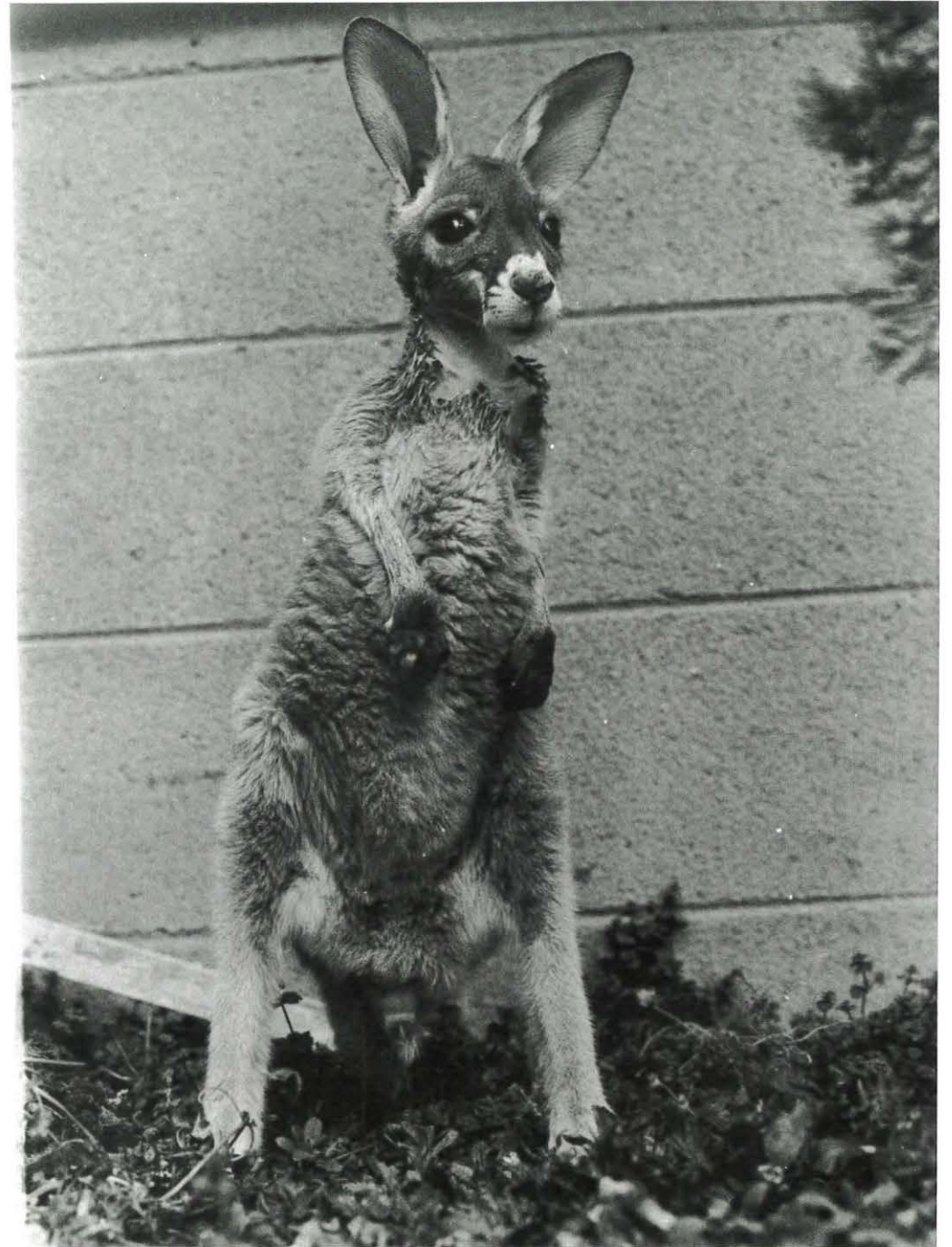
動物と私	2
“人工哺育で育つアカカンガルーの赤ちゃん”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
鈴鹿のカモシカ	6・7
大阪空港の鳥	8・9
キーパーズ・アイ	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“キヨン”

中国南部、台湾に分布する小形のシカの仲間です。昭和53年以来、毎年連続して繁殖しており、現在までに8頭が誕生しています。

(撮影：葭谷 文彦)



“人工哺育で育つアカカンガルーの赤ちゃん”

昨年12月に母親が急性肺炎で倒れ、その後人工哺育で育てているアカカンガルーの赤ちゃんは順調に成育しています。2月からは離乳食も採食を始めており、1日4回の哺乳もまもなくおしまいになるでしょう。(撮影：野口 秀高)

動物園グラフ

北アメリカの動物たち

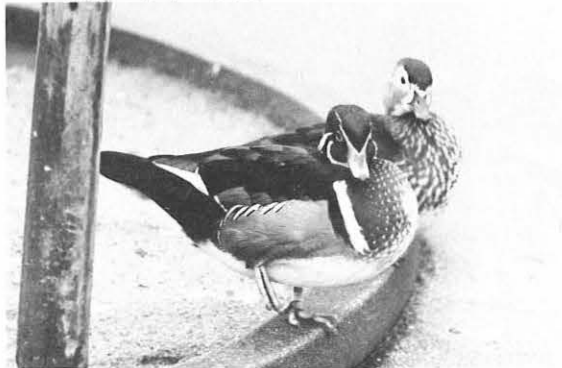
今回はラスカルで有名なアライグマや日本の動物園ではめったに見られないカンムリウズラなど、北アメリカに生息する当園の動物たちをカメラに収めました。

(撮影：森本 委利)



カリフォルニアアシカ

カリフォルニア沿岸に生息するこのアシカは一夫多妻で毎年6月に1子を出産します。1頭は必ず見張りをを行い、危険を知らせます。



アメリカオン

主に夕方より朝に活動し、飛翔時羽音がしない点など、オシドリに似ていますが、羽色はやや地味です。



カンムリウズラ

普通、群でみられ、地上で採食します。頭に冠を持つ気品あるウズラで、カリフォルニアに生息します。



シンリンオオカミ (黒変種)

当園のオオカミ類中、一番スマートな体型をしています。オオカミの夫婦仲はとてよく、両親が協力して哺育にあたります。



ピューマ

木登り、水泳が巧みで、えさの食べ残しを隠しておき、肉が新鮮な間戻ってきては食べる習性があります。



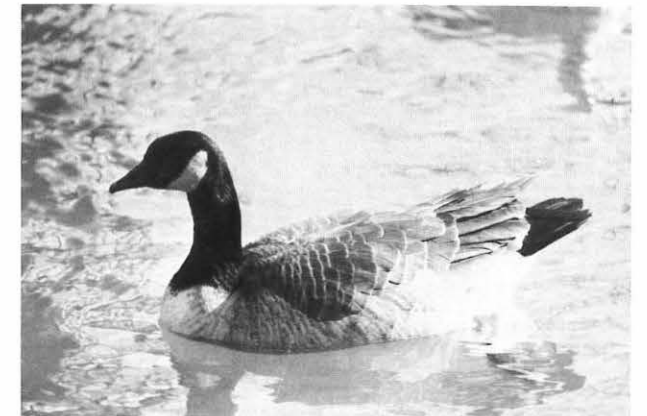
アライグマ

前あしの動きがとても巧みで、水中に入れて泥をまさぐり、獲物を捕えます。南方のものは年中活動しますが、北方のものは冬ごもりします。



アカハシリウキウガモ

ガンカモ類の中でも、最も色彩に富んでいるものの1つで、声も同じくきれいです。樹上性が強く巣は樹洞に作ります。



カナダガン

10を越える亜種に分けられ、大きさかなりの開きがあり、体重で最大のものは、最小の4倍もあります。習性はやや攻撃的で、よく鳴きます。

1・2月の動物園日記

- 1/21. タヌキの早が闘争で顔に咬傷をうけたので治療しました。
- 1/22. アジルテナガザルの雄が急に元気をなくし食欲も全くなかったので入院させました。先に雌が頭部裂傷で入院しており、雌のいない寂しさからこのようになったようです。エミューが12卵目を産みました。
- 1/24. モウコレイヨウが発情・交尾しました。アジルテナガザルの雄は風邪にかかっていることがわかり治療を開始しました。

- 1/25. ワシミミズクが産卵しました。
- 1/26. チンパンジーの雌キャンディのストレス予防のため、イエウサギと同居させました。定例飼育研究会が行なわれました。
- 1/27. カリフォルニアアシカが流産しました。胎児は雄と雌の2頭で毛も全くはえていませんでした。
- 1/28. ブラックバックの雄がハナシカに追われ衰弱し昏睡に陥ったので隔離し、すぐ点滴治療を行ないました。
- 1/29. 治療のかいもなく、ブラックバックの雄が死亡しました。栄養不良からの衰弱死でした。

- 1/30. エミューが12卵目を産みました。
- 1/31. 負傷し衰弱の激しいコサギ1羽を保護しました。すぐ保温、治療を行ない回復を待ちました。
- 2/1. ホッキョクグマの雌が突然に食欲がなくなり、よだれを流し始めたので、治療を施しました。
- 2/3. クロオオカミの雄が右前肢をいため、跛行を呈し始めたので治療を始めました。
- 2/5. なきごえ編集会議が行なわれました。
- 2/6. 瞬膜露出で入院中のコヨーテの再手術が実

- 施されました。経過は良好です。
- 2/7. ワシミミズクの2卵目の抱卵が確認されました。
- 2/8. キタキツネの♂が旭川市旭山動物園より寄贈されてきました。検疫完了後、展示される予定です。
- 2/10. 昨年6月生まれのカリフォルニアアシカの子を離乳させるため隔離しました。
- 2/15. 交通事故で負傷したタヌキを保護しました。
- 2/18. 新猛禽舎建設のため、猛禽類を移動しました。

鈴鹿のカモシカ

名和明

*冬のある一日

目前100mに3頭のニホンカモシカが見えます。このうち2頭は母・子のカモシカと一緒に座位休息していましたが、さっきから子カモシカは立ちあがり下草を採食しました。他の1頭は母カモシカとツガイ関係にある雄カモシカで母子から約20m離れた緩斜面に前肢をなげだし座位休息しています。このツガイは連続3年変りませんから、おそらくこの雄カモシカは子カモシカの父なのでしょう。山の下方で時々銃声が響きますが、それ以外は実のんびりとした初冬鈴鹿山中です。そろそろ夕刻ですし、カモシカたちの行動にも変化がありませんから観察をやめて帰ってもよいでしょう。



① ニホンカモシカの雄

おや、少し変です。雄カモシカが突然立ちあがり首をのぼし耳をピクピク動かしています。明らかに警戒しています。とその時、2頭のニホンジカ（母子群らしい）がカモシカたちのいる真中へ走り込んできました。続いてもう1頭4尖の角をもつりっぱな雄ジカが走ってきました。雄カモシカは横方向へ一目散にカケスのような『ギャーギャー』という声を出し逃げていきます。母カモシカもこれに気づき斜面上方へ走り逃げていきます。子カモシカは見失いました。3頭のシカはカモシカの存在など無視するかのようになすすぐ走りぬけ、谷をわたり私たちのいる斜面に入って見えなくなりました。雄カモシカも見えなくなり、母カモシカだけがシカの通り抜けた上方約100mから首をのぼし耳を前にたおして下の様子をうかがっています。

拙文でうまく表現できませんが、それはすばらしい生命の躍動感です。繁殖期の雄ジカは雌ジカをよ

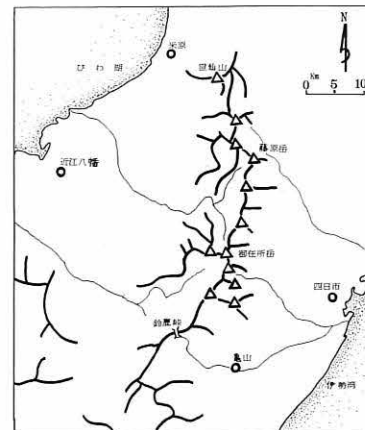
く追いまわしますが、今のでき事もこのことが原因なのでしょう。子カモシカを見失ったのは失敗ですが、帰りぎわに先程のシカの足跡トレースもできそうです。八分の満足感を胸に山をおりにしましょう。



② ニホンジカの雄

*ニホンカモシカと鈴鹿山系

カモシカは偶蹄目ウシ科の哺乳類で、大きさは秋田犬ほど、黒～茶の毛におおわれ、雌雄共に小さな角をもっています。昭和30年に国の特別天然記念物に指定されました。大阪近辺では京都市動物園や三重県御在所岳の日本カモシカセンターなどで飼育されています。鈴鹿山系は琵琶湖と伊勢湾にはさまれた地域のほぼ中央を背筋のようにのびる南北約30kmの山並をいいます。標高1000m前後と登山に手頃ですから大阪方面からも多数の人々が訪れています。山にはカモシカをはじめシカ、イノシシ、サル、アナグマ、タヌキ、キツネ、ノウサギなどツキノワグマを除くほとんどの動物が生息しています。



③ 鈴鹿山系の略図

です。一方、野生のカモシカの生態についてはまだ不明な点がほとんどです。生態の一例として現在観

鈴鹿山系のカモシカは全国的に有名ですが、それは前に述べたニホンカモシカセンターによるカモシカ飼育の成果によるところが多大

察中の鈴鹿山系北端の^{りょうせんやま}霊仙山（標高1084m）のカモシカについて述べたいと思います。

*どんな所にどれくらい生息しているのか。

地元の猟師の方たちは「カモシカは岩につく」とかわれています。カモシカは岩場にいると思われていますが必ずしもそうではなさそうです。登山客などがあまり入らない場所は彼らの生息可能範囲と思われる。その範囲内で1～2頭/kmが生息すると予想しています。頭数そのものもかなり少ないのですが、さらに連続して生息しているのでもなさそうで、はなはだ心もとない分布状況といわざるをえません。

*カモシカ社会単位について

カモシカは単独又は2頭づれで行動することが多いようです。2頭づれは母子又はツガイが多く、時に3頭づれの場合は母子に雄カモシカが加わったもので、いわゆる家族群です。しかし、家族群といっても24時間一緒にいるわけでもありませんし、前に述べたように逃避時にバラバラにわかれるなど私たちが考える家族とはずいぶん意味の違うものです。3頭以上の群れはほとんど形成されません。

社会単位でもう一点興味のあることは、その中心となるのが母カモシカである場合が多いということです。他個体と親和的であれ、反発的であれ、その相手の一方は母カモシカである頻度が高いようです。



④ ならみあう雄カモシカ

*カモシカの四季

春は子別れ、出産と続く変動の多い季節です。子別れは母カモシカが1年間つれてきた子を寄せつけなくする現象です。母に近づこうとする子を、時に母は200mあまりも走って追いまわします。カモシカの個性もあるのですが普通こんな時、雄カモシカは我関せずといった様子で動こうとしません。出産は年により違いますが、5月から7月に行なわ

れるようです。生まれたての子はクマの子のように真黒で、活発に動きます。昨年、山仕事の人について1頭の子カモシカが山をおりてしまいました。幸いその方がもといた場所にもどされたので事なきを得ましたが、子は動くものについて歩く習性があるようです。

夏から秋にかけては一時遠出するといわれますがよくわかっていません。この時期は雨の中でも普通に行動しますし、食べ物も豊富で彼らにとっては一番安定した季節といえるでしょう。

秋から冬にかけては繁殖期で交尾なども見られます。霊仙山では積雪も多く、最低気温も-10℃ほどになりますので、冬を越すことは大変厳しいことだと思われれます。事実、冬の行動圏はきわめてせまくなってしまいます。



⑤ 交尾中のカモシカ

四季の移りかわりはカモシカたちにとっても大きな節目になっているようです。

*おわりに

おおまかな話ばかりになりましたが、最後に保護団体の一つ『カモシカ食害防除学生隊関西支部』（大阪市大淀区豊崎2-4-5岸本ビル内）を紹介したいと思います。熱心に鈴鹿山中で食害防除を実際に行っている皆さんの集りです。

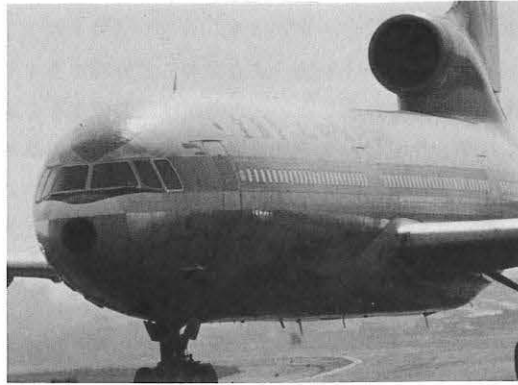
カモシカに興味のある方は鈴鹿山中を歩くなり、これらの集りに参加するなりされればきっと、より一層身近にカモシカが感じられることでしょう。

（愛知県立名古屋西高等学校教諭）

大阪空港の鳥

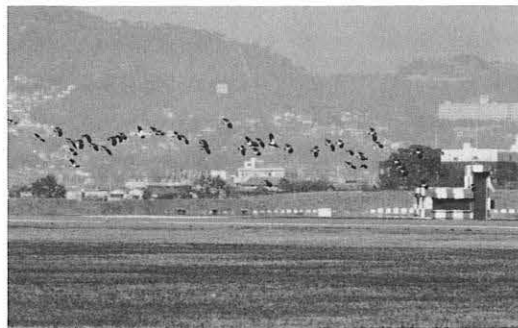
栗谷 至

先日、羽田沖に日航機が墜落し、大惨事となりました。このときのニュース解説では、大阪空港でな



くて良かった、というのが一致した評だったようです。全く、これ程人家の密集した所を多大な公害をまき散らしつつ離発着している空港は、世界に二つとないでしょう。それだけに万一墜落でもしようものなら、一市丸焼けになる程の大惨事となることは間違いありません。特に離発直後は、燃料満載でエンジンもフルパワーであるだけに、その破壊力は恐るべきものと考えられます。大阪空港は離陸、着陸いずれの場合とも他空港よりはるかに緊張する、と機長さん達が口をそろえるのも当然でしょう。

さて、空港内は一般人立入禁止となっており、滑走路や誘導路を管制官の許可なく横切るとはパトカーでさえ許されていません。このため、空港内の



タゲリの群

芝地は野鳥たちにとって、いわば特別保護区のようなもの。トビやケリ、タゲリなど大～中型の鳥たち

の格好の生息地になってしまっています。単に居るだけならともかく、滑走路に並んで居眠ったり、航空機直前を横断したりするため、パイロットをひやひやさせ、目の上のコブ的存在でさえあります。

現在運行している航空機は、YS-11や新聞社の小型機等を除き、ほとんどすべてがジェットエンジンを搭載しています。このエンジンは、三階建てビルディングに匹敵する巨大な機体を、わずか1～2キロの助走距離で空中に持ち上げるべく、とてつもない強力なものです。空気を吸い込む前の口は、直径が人の背よりやや大きく、その中に少し大き目のタービンが高速で回っています。この中に何か異物が吸い込まれると、エンジンはたちまち不調を来とし、最悪の場合はタービンブレードが溶けて爆発炎上という事態を生じます。いま運行中の旅客機は、大体3～4基のエンジンをつけて居ますが、徐々に大型エンジンを少数搭載する方向に傾きつつあり、万一の場合の危険性が增大してきています。

飛行場で鳥を観察していると、時々滑走路をキジバトが横断します。ふだんはまっすぐ飛んでいるキジバトが、航空機が接近すると一瞬どうしようかと迷うように飛行が乱れ、危うくあたりそうになってから、あわてて引き返します。難を逃れて必死に飛ぶ姿は、どこかチャップリンのひたむきさに似て、哀れにも滑稽です。

空港関係者は、鳥の衝突による航空機の損害を、「鳥害」と呼んでいますが、逆に鳥の側からは「航空機害」とも言え、正確には「事故」と称すべきものでしょう。交通事故が車の性能向上に伴い致命的にならなかった「鳥害」が、ジェット時代に入って急にクローズアップされてきた裏には、鳥の世界の常識をはるかに超えた高速度と、それを要求する人間社会の構造とがあります。

ところで、空港内には一体どんな鳥がどれくらい居るでしょうか。季節により、日により、時刻によって種類も数も大きく変動しますが、大体5～10種、

合計100羽前後というところですよ。

大きな方から、トビ、カラス（ハシブト、ハシボソとも）、コサギ、チョウゲンボウなどが挙げられ、他に冬にはタゲリ、夏にはケリが常時4～50羽群れています。また、春秋の渡り時期には、ムナグロ、



チョウゲンボウ

チュウシャクシギ、タシギ、ヤマシギ、インシギ、シロチドリ、コチドリなどのシギ・チドリ類が芝生の上に並んで休息しています。

ところで、ケリとタゲリが同時に観察されることは無く、必ずわずかな空白期間をおいて入れかわります。多分どこかの畑地で早春に繁殖を終えたケリが、一群となって空港に侵入し、一夏を過ごした後どこかへ渡って行くのでしょうか、はたして彼らがその年に生れた若鳥なのか、高齢個体が居るのか、更にもどこから来てどこへ行くのか等、肝心なことはまだ何一つ判りません。タゲリは冬鳥ですが、広大な水田地帯ではもっとまばらに生息しているのに、何故空港では密な群なのでしょう。やはり強く警戒しているのかもしれませんが。

周囲の防音植樹帯では、キジバトが年中巣をかけて忙しそうです。滑走路北端には用水路が通っていて、驚くほどきれいな水が流れ、水草がよく茂っています。ここにはフナがたくさん居て、人影が映ると一斉に土管に逃げ込みます。これをねらって、昼はコサギ、夜にはゴイサギがやって来ます。考えてみれば、これ程魚影の濃いところはざらには無いでしょう。

芝生の中を年に2～3回芝刈機が走り回って、ア

メリカの大農耕地のごとき情景を出現させますが、この隙をねらってヒバリが巣をつくりまします。空港内は本当にヒバリが多く、50～100mに1羽くらいの割合で空高くさえずって居るのが見られます。地上性の外敵（特に人間）はすべてフェンスとパトカーに追い払われ、農薬の散布もない、実に快適な保護区なのです。（ただし、魂をもゆるがす爆音と、石油ストーブの不完全燃焼に似た悪息を除けば、ですが。）



タヒバリ

その他、冬にはツグミ、タヒバリ、ムクドリなどが群になり、あるいは単独で芝生の上を歩き回っています。夏は極度の乾燥のためか、鳥は少ない様です。

以上の鳥たちの内、航空機と衝突して損害を与えるのは、大半がトビで、他はケリとタゲリ等です。

一件衝突があれば損害額が大きいため、航空関係者などが銃を持ってパトロールを行ない、実砲やシェルクラッカー（銃を使用して発射する強力な花火）を用いて脅していますが、他に鳥の生息可能地がないためか効果はいまひとつです。

人間は、市街化により徹底的に鳥から土地を取り上げました。最後に残った空地＝空港から追い払うためには、代替地がどうしても必要な様です。でなければ全滅作戦…？ なお、関西新空港では、伊丹よりはるかに多くの鳥が棲みつき、鳥害の危険が大きいだろうとの予想を申し添えておきます。

（社団法人 大阪自然環境保全協会事務局）

キーパーズ・アイ ②1

♪ 春よこい ♪ 早くこい ♪

先
した

北風吹きすさぶ冬、動物達にとっても厳しい季節です。特に熱帯産の動物は、日本の冬に順応できるとはいえ、やはり寒いのはにがてのようで、暖房のしてある寝室から寒い運動場へは、なかなか出ようとはしません。冷えこみのきびしかった朝には、プールの水も凍ってしまい、氷を割ってやる作業で、1日が始まる事もあります。しかし、長く厳しい冬も3月になると、各地から春のたよりが聞かれるようになります。動物園でも、水鳥やキジ達が、盛んにディスプレイをやりだします。他の動物達も動作が活発になり、食欲も旺盛になってきます。又、春は出産のシーズンでもあり、秋に交尾したニホンジカやニホンザルの可愛い赤ちゃんの姿が見られるようになります。そして、求愛、交尾を終えたキジや

キツネと油揚げ

先日、あるテレビ局から取材依頼がありました。キツネが油揚げを食べるか食べないか、試して欲しいという内容でした。取材の当日、メスのキタキツネのチロンで実験を行いました。用意された2枚の油揚げ、1枚の方にはキツネうどん用の甘い味が付けてあり、もう1枚には味が付いていません。この



HIROMI M



タンチョウなどが、続々と卵を産み始めます。春は動物達にとっても、我々飼育係にとっても、忙しく又、楽しい季節なのです。寒い冬の日、作業をしながら、春よこい 早くこい……と願っているのです。

(飼育課：農本 武志)

2枚の油揚げをチロンに与えたところ、早速チロンはこの油揚げのにおいを嗅ぎ、すぐさま味の付いた方の油揚げを食べてしまいました。しかし、味の付いていない油揚げは、一度口にくわえただけで食べようとはしませんでした。昔話や民話などで、キツネの好物が油揚げであるとされています。しかし、キタキツネのチロンは、味の付いた油揚げしか食べなかったのです。油揚げが、キツネの好物なら2枚とも食べるはずです。なぜ味の付いた方だけ食べたのか？ その理由をいろいろ考えてみると、おそらく心ない入園者が、投げ与えるお菓子の甘い味を覚えてしまったからではないでしょうか。

(飼育課：農本 武志)

(イラスト：松山 浩美)

動物園ニュース

旭川動物園よりキタキツネ来園

2月8日、キタキツネのオスが1頭来園しました。当園では昭和51年に来園したメスが、長い間1頭で飼われており、オスを捜していたところ、この度北海道旭川市の旭山動物園のご厚意でオス1頭をいただくことになりました。

現在動物病院で検疫中ですが、まもなくメスと同居させる予定です。同居が繁殖期より少し遅くなるため、今春の二世誕生は無理か

もしれませんが、来年以後がたいへん楽しみです。映画などで有名になったキツネですので、きっと人気者になることでしょう。

マレーバクの入園

一昨年6月にオスが急死し、寂しくなっていたマレーバク舎にかわいいオスが2月9日にお目見えしました。

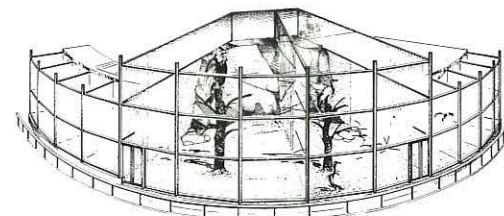
このオスは福岡市動物園で、昨年4月13日に生まれたものです。バクの仲間の動物園での繁殖例は比較的少なく、早くこのオスが成長し、ぜひ繁殖に成功して欲しいものです。

スーアシカの餌付け開始



検疫中のキタキツネのオス

総面積 411㎡の鉄骨製の猛禽舎が建設されます。大小あわせて10室が建設されます。奥行、高さも充分あり、擬岩や植栽により自然に近く、繁殖に適したものとなることでしょう。



新猛禽舎の完成予想図

今春4月中旬完成予定ですので、その間猛禽類と小獣舎の一部は工事のためご覧いただくことはできませんがご了承下さい。

保護動物相次ぐ!!

1月末から2月にかけて保護動物が相次いでいます。哺乳類では、この半月間にタヌキが3頭も保護されました。2月2日に平野区で衰弱したタヌキが保護され、平野警察より届けられました。10日には住吉区菊田町で檻に入れられたまま放置されていたオスの子ダヌキが住吉警察から届けられました。心ない人がしかけたトラバサミにでも挟まれたのか右の前足を負傷しており、断脚手術をせざるをえませんでした。

くらしを彩るショッピング

近鉄百貨店
アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ
大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

く
す。
ま
ま
な
な
間
連
ン
ジ
る
べ
い
ず
機
長
さ
走
路
カ
ー

芝
地
な
も

キーパーズ・アイ ②1

♪ 春よこい ♪ 早くこい ♪

北風吹きすさぶ冬、動物達にとっても厳しい季節です。特に熱帯産の動物は、日本の冬に順応できるとはいえ、やはり寒いのはにがてのようで、暖房のしてある寝室から寒い運動場へは、なかなか出ようとはしません。冷えこみのきびしかった朝には、プールの水も凍ってしまい、氷を割ってやる作業で、1日が始まる事もあります。しかし、長く厳しい冬も3月になると、各地から春のたよりが聞かれるようになります。動物園でも、水鳥やキジ達が、盛んにディスプレイをやりだします。他の動物達も動作が活発になり、食欲も旺盛になってきます。又、春は出産のシーズンでもあり、秋に交尾したニホンジカやニホンザルの可愛い赤ちゃんの姿が見られるようになります。そして、求愛、交尾を終えたキジや

キツネと油揚げ



タンチョウなどが、続々と卵を産み始めます。春は動物達にとっても、我々飼育係にとっても、忙しく又、楽しい季節なのです。寒い冬の日、作業をしながら、春よこい 早くこい……と願っているのです。

(飼育課：農本 武志)

動物園ニュース

旭川動物園よりキタキツネ来園

2月8日、キタキツネのオスが1頭来園しました。当園では昭和51年に来園したメスが、長い間1頭で飼われており、オスを捜していたところ、この度北海道旭川市の旭山動物園のご厚意でオス1頭をいただくことになりました。

現在動物病院で検疫中ですが、まもなくメスと同居させる予定です。同居が繁殖期より少し遅くなるため、今春の二世誕生は無理か



検疫中のキタキツネのオス

もしれませんが、来年以後がたいへん楽しみです。映画などで有名になったキツネですので、きっと人気者になることでしょう。

マレーバクの入園

一昨年6月にオスが急死し、寂しくなっていたマレーバク舎に可愛いオスが2月9日にお目見えしました。

このオスは福岡市動物園で、昨年4月13日に生まれたものです。バクの仲間の動物園での繁殖例は比較的少なく、早くこのオスが成長し、ぜひ繁殖に成功して欲しいものです。

アシカの餌付け開始

昨年6月に生まれた2頭のカリフォルニアアシカの赤ちゃんのうち1頭の餌付けを開始しました。

体重測定の結果、この1ヶ月の体重が減少し、心なしか痩せが目立ち、元気もなくなってきたようなので、2月10日に餌付けのために親から隔離することにしました。例年3月終りから4月にならないと餌付けを始めないので、うまくゆくかどうか心配です。

隔離した日には、生きたアジや金魚には全く興味を示さず、2日間は何も受け付けようとしませんでした。



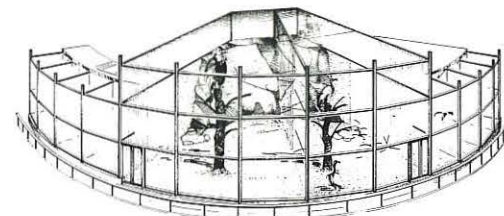
餌付けを開始したアシカ

しますが、なんとかうまく成功してほしいものと頑張っています。

猛禽舎の建設始まる!!

現在の猛禽舎は老朽化が目立ち、コンドル舎以外は手狭で、繁殖用には不向きのため建替が望まれていましたがこのほど財団法人日本宝くじ協会の「宝くじの益金」により建替えられることになりました。2月19日から工事が始まり、総工費約5000万円

総面積411㎡の鉄骨製の猛禽舎が建設されます。大小あわせて10室が建設されます。奥行、高さも充分あり、擬岩や植栽により自然に近く、繁殖に適したものとなることでしょう。



新猛禽舎の完成予想図

今春4月中旬完成予定ですので、その間猛禽類と小獣舎の一部は工事のためご覧いただくことはできませんがご了承下さい。

保護動物相次ぐ!!

1月末から2月にかけて保護動物が相次いでいます。哺乳類では、この半月間にタヌキが3頭も保護されました。2月2日に平野区で衰弱したタヌキが保護され、平野警察より届けられました。10日には住吉区菊田町で檻に入れられたまま放置されていたオスの子タヌキが住吉警察から届けられました。心ない人がしかけたトラバサミにでも挟まれたのか右の前足を負傷しており、断脚手術をせざるをえませんでした。

15日にも三重県松阪市で自動車にはねられたタヌキが保護されました。大腿骨と骨盤を骨折しており早速手術をしました。

骨折したタヌキのレントゲン写真

一方、野鳥も1月28日に交通事故にあったフクロウが、31日にはこれも交通事故にあったと思われるコサギが保護されました。また2月11日には誤って釣針を飲み込んだヒドリガモのメスが保護されました。その他にも野鳥が保護されており、治療や給餌に動物病院は大忙しです。

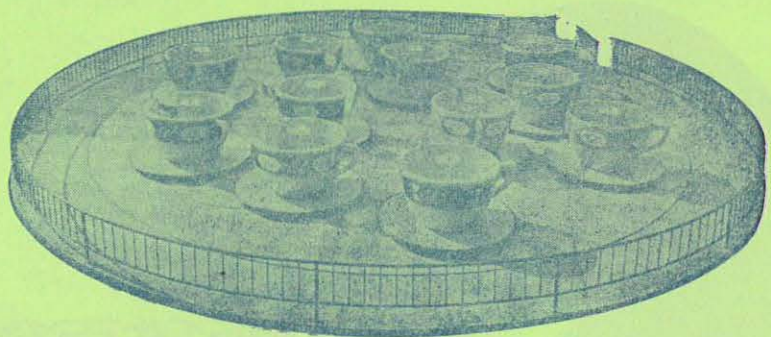
☆ 休園日のお知らせ ☆

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。6月までの休園日は下記のとおりです。
3月15日(月)、4月19日(月)、5月17日(月)、6月21日(月)。
開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

現在の飼育動物数 (1982年1月31日現在)

哺乳類	102種	355点
鳥類	227種	794点
爬虫類	45種	98点
計	347種	1247点

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

先
した

くて
す。
まき
とな
のな
間違
ンジ
るべ
いず
機長
さ
走路
カー

芝地
なも

なきごえ 昭和57年 3月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

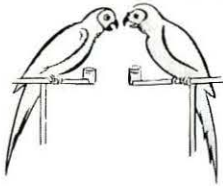
第18巻 第3号(通巻199号)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

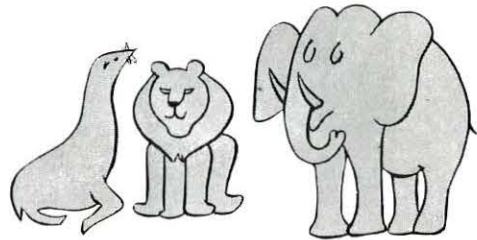
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル